

# 病床機能報告の結果の分析について

## 1 経緯

### <病床機能報告の4機能>

- **主観的(定性的)な区分**  
→各医療機関の自主的な選択に依拠

異なる

### <地域医療構想(必要病床数)の4機能>

- **客観的(定量的)な区分**  
→医療資源投入量(診療報酬点数等)に応じた区分

- **病棟を単位とした区分**  
→同じ病棟の中に様々な病期の患者が混在している。

異なる

- **日々の患者を単位とした区分**  
→同じ病棟にいても、日ごとに区分が変わる。

(実際には)急性期や慢性期を担うものとして報告された病棟においても、回復期の患者が一定数入院し、回復期の医療が提供されている。  
(にもかかわらず)回復期機能を担う病床が各構想区域で大幅に不足していると誤解させる事態が生じている。

国は、病床機能報告の結果について、詳細な分析や検討を行うことを求めている。

参考1 (H30.8.16付け医政地発0816第1号厚労省医政局地域医療計画課長通知)

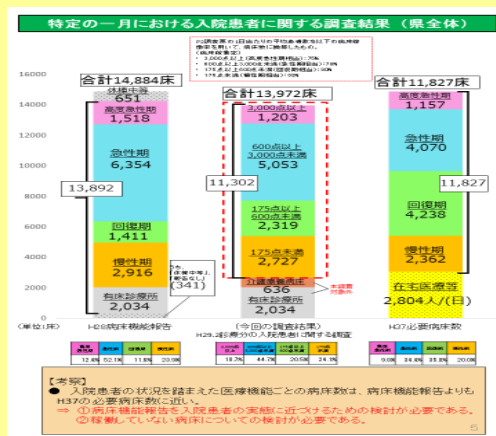
※ なお、平成30年度の病床機能報告では、高度急性期・急性期に関連する医療が全く確認できない病棟を同機能として報告する場合には、具体的医療行為名と実績を記載しなければならないこととなっている。

## 2 本県のこれまでの取組

本県では既に以下のとおり独自の分析を行い、結果を調整会議で報告しているが、今回②について、病棟ごとの新たな分析を試みた。

- ① 「特定の一月における入院患者等に関する調査」を実施し、病床機能報告における4機能の病床数と実際の入院患者への医療資源投入量を基に区分した4機能の病床数を比較した。
- ② 毎年度の調整会議において、病床機能報告の手術件数や救急車の受入れ件数など主に急性期の医療提供内容に関する項目について、独自の基準で区分し、4医療機能区分との相関を検証している。

①



②

**4. 手術の状況**

1. 手術件数は、手術室稼働率を以て月別の値とする。手術室稼働率は、手術室稼働時間（稼働時間）を手術室稼働可能時間（稼働可能時間）で割った値である。

手術室稼働率	手術室稼働時間（稼働時間）	手術室稼働可能時間（稼働可能時間）
100%	1,000	1,000
90%	900	1,000
80%	800	1,000
70%	700	1,000
60%	600	1,000
50%	500	1,000
40%	400	1,000
30%	300	1,000
20%	200	1,000
10%	100	1,000
0%	0	1,000

## 3 新たな分析の目的

- 病棟ごとの医療提供内容を分析し、圏域単位で可視化することにより、地域医療構想調整会議における議論を活性化させるとともに、病床機能の分化・連携に向けた自主的な取組の推進に役立てる。
- 医療機関が病床機能報告において4機能区分の判断に迷った際に一つの目安とすることができる。

今回作成した条件（基準）を実際に病床機能報告を行っていただく際のルールとするものではありません。

## 4 新たな分析の方法

平成29年度病床機能報告において急性期と報告のあった病棟について、他県の分析方法を参考に平均在棟日数と医療提供内容を基に、**急性期1(急性期相当)**と**急性期2(回復期相当)**に分類し、必要病床数との比較を試みた。

**A:佐賀県方式** 平均在棟日数<22日(※)

(※)10対1入院基本料の算定要件である平均在院日数21日以内  
(切り上げ後)の基準に幅を持たせたもの。

**B:大阪府方式** 治療実績が多く、看護配置が少なくなるに伴い、件数が大幅に減少している4項目について、50床あたり1日の状況を基に、以下のとおり区分。

(B-1～B-4のうち、いずれか1つを満たせばB項目はクリア)

B-1:手術の状況【手術総数(算定回数)】 $\geq 1$

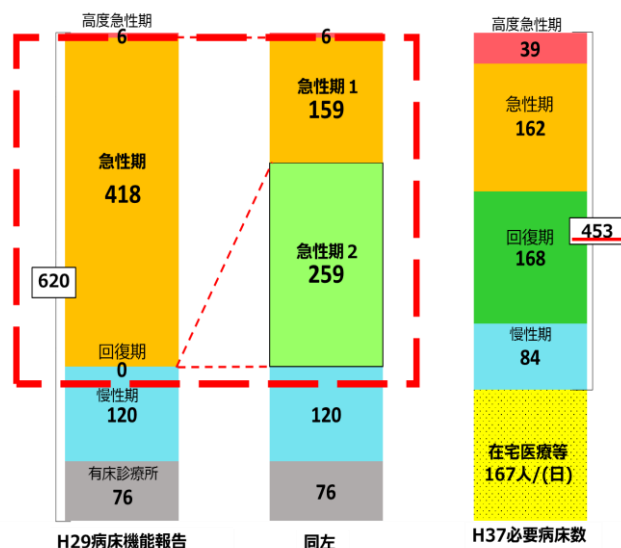
B-2:がんへの対応状況【化学療法の実施状況(算定日数)】 $\geq 1$

B-3:救急医療管理加算【救急医療管理加算の基準・要件を満たすレセプト件数】 $\geq 1$

B-4:呼吸心拍監視算定件数【呼吸心拍監視(3時間超7日以内)の算定回数】 $\geq 2$

条 件	区 分
AもBも満たすもの	急性期1(急性期相当)とみなす。
それ以外	急性期2(回復期相当)とみなす。

## 5 分析結果

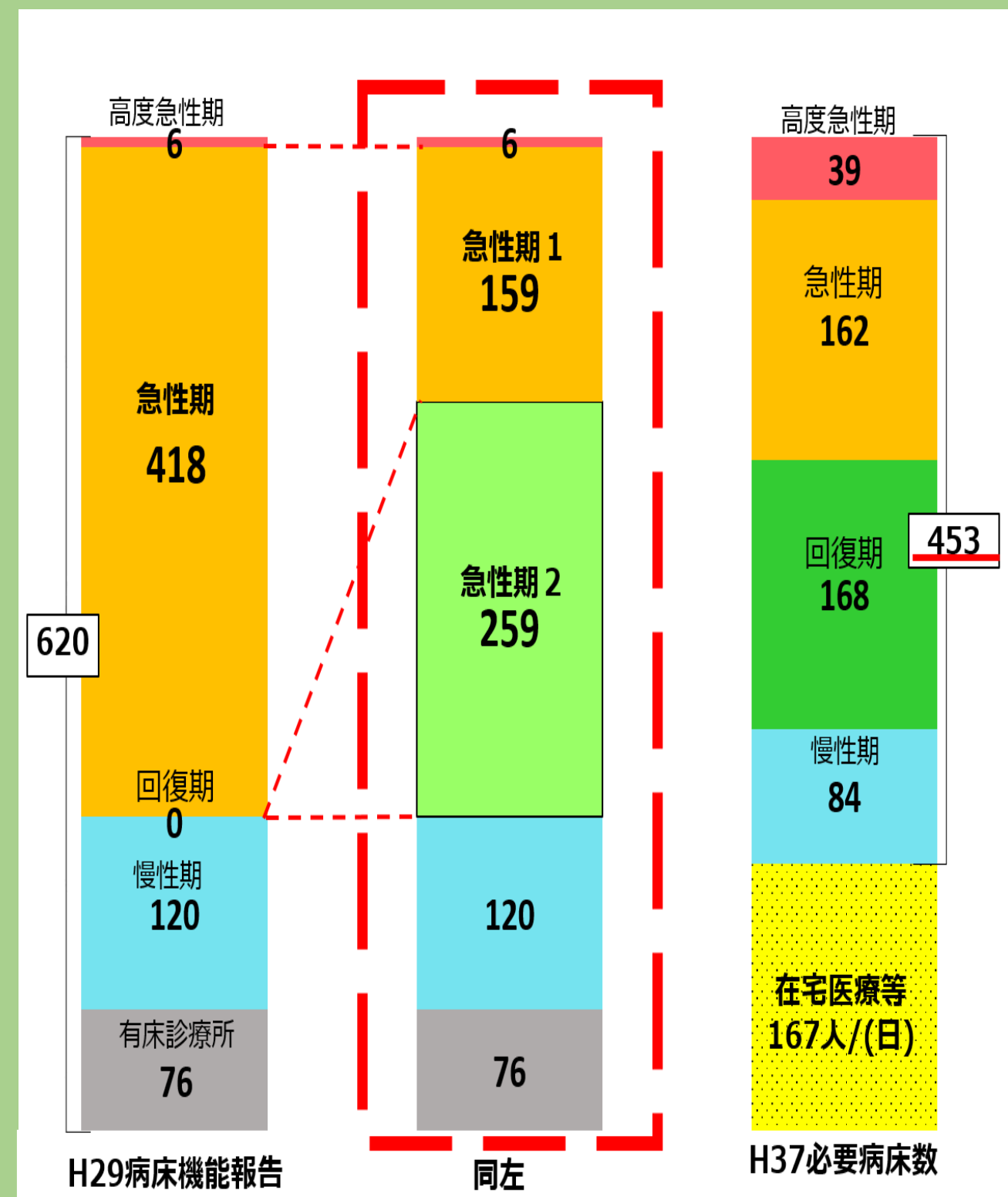


### 【考察】

・下北地域においては、急性期と報告のあった病棟の一部が急性期2(回復期相当)に区分され、現状においても回復期相当の医療が一定程度提供されていることが推察される。



## H 2 9 病床機能報告 病棟ごとの医療提供内容



	むつ総合病院								むつリハビリテーション病院				大間病院	
		2 階病棟 2	2 階病棟 1	3 階病棟	4 階病棟	6 階病棟	7 階病棟	5 階病棟		1 病棟	2 病棟	3 病棟		一般病棟
		高度急性期	急性期	急性期	急性期	急性期	急性期	急性期		慢性期	慢性期	慢性期		急性期
		特定集中 治療室管 理科 3	一般病棟 10対 1 入 院基本料	一般病棟 10対 1 入 院基本料	一般病棟 10対 1 入 院基本料	一般病棟 10対 1 入 院基本料	一般病棟 10対 1 入 院基本料	一般病棟 10対 1 入 院基本料		療養病棟 入院基本 料 2	療養病棟 入院基本 料 2	介護療養病 床において 療養型介護 療養施設 サービス費 等の届出あり		一般病棟 10対 1 入 院基本料
高度急性期	6	6												
急性期 1	111			42			69						48	48
急性期 2	259		59		72	70		58						
回復期														
慢性期									120	40	40	40		
休棟中等														
計	376	6	59	42	72	70	69	58	120	40	40	40	48	48

病床の状況(A)

[illegible]

## 手術の状況(B-1)

手術の状況(B-1)		2 階病棟 2	2 階病棟 1	3 階病棟	4 階病棟	6 階病棟	7 階病棟	5 階病棟		1 病棟	2 病棟	3 病棟		一般病棟
		高度急性期	急性期	急性期	急性期	急性期	急性期	急性期		慢性期	慢性期	慢性期		急性期
手術総数（算定回数）	220回	33回	30回	26回	35回	37回	45回	14回	0回	0回	0回	0回	3回	3回
<b>50床あたり1日の手術総数</b> <b>= 手術総数（算定回数）÷ 30</b> <b>×（50床 ÷ 許可病床数）</b> <b>※小数点第二位を四捨五入</b>	<b>1.0回</b>	<b>9.2回</b>	<b>0.8回</b>	<b>1.0回</b>	<b>0.8回</b>	<b>0.9回</b>	<b>1.1回</b>	<b>0.4回</b>	<b>0.0回</b>	<b>0.0回</b>	<b>0.0回</b>	<b>0.0回</b>	<b>0.1回</b>	<b>0.1回</b>

## がんへの対応状況(B-2)

がんへの対応状況(B-2)		2 階病棟 2	2 階病棟 1	3 階病棟	4 階病棟	6 階病棟	7 階病棟	5 階病棟		1 病棟	2 病棟	3 病棟		一般病棟
		高度急性期	急性期	急性期	急性期	急性期	急性期	急性期		慢性期	慢性期	慢性期		急性期
化学療法（算定日数）	142日	0日	27日	33日	4日	52日	26日	0日	3日	1日	2日	0日	0日	0日
<b>50床あたり1日の化学療法実施状況</b> ＝化学療法（算定日数）÷ 30 ×（50床÷許可病床数） ※小数点第二位を四捨五入	<b>0.6</b>	<b>0.0</b>	<b>0.8</b>	<b>1.3</b>	<b>0.1</b>	<b>1.2</b>	<b>0.6</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>

### 救急医療の実施状況(B-3)

救急医療の実施状況(B-3)		2 階病棟 2	2 階病棟 1	3 階病棟	4 階病棟	6 階病棟	7 階病棟	5 階病棟		1 病棟	2 病棟	3 病棟		一般病棟
		高度急性期	急性期	急性期	急性期	急性期	急性期	急性期		慢性期	慢性期	慢性期		急性期
救急医療管理加算（レセプト件数）	159件	0件	18件	0件	33件	49件	37件	22件	0件	0件	0件	0件	24件	24件
<b>50床あたり1日の救急医療管理加算の基準・要件を満たすレセプト件数</b> <b>= 救急医療管理加算（レセプト件数）÷ 30</b> <b>× (50床 ÷ 許可病床数)</b> <b>※小数点第二位を四捨五入</b>	<b>0.7件</b>	<b>0.0件</b>	<b>0.5件</b>	<b>0.0件</b>	<b>0.8件</b>	<b>1.2件</b>	<b>0.9件</b>	<b>0.6件</b>	<b>0.0件</b>	<b>0.0件</b>	<b>0.0件</b>	<b>0.0件</b>	<b>0.8件</b>	<b>0.8件</b>

## 全身管理の状況(B-4)

全身管理の状況(B-4)		2 階病棟 2	2 階病棟 1	3 階病棟	4 階病棟	6 階病棟	7 階病棟	5 階病棟		1 病棟	2 病棟	3 病棟		一般病棟
		高度急性期	急性期	急性期	急性期	急性期	急性期	急性期		慢性期	慢性期	慢性期		急性期
呼吸心拍監視（3 時間超 7 日以内）（算定回数）	372回	0回	34回	0回	30回	86回	189回	33回	0回	0回	0回	0回	82回	82回
50床あたり1日の呼吸心拍監視（3 時間超 7 日以内）の算定回数 ＝呼吸心拍監視（算定回数）÷30 ×（50床÷許可病床数） ※小数点第二位を四捨五入	1.6回	0.0回	1.0回	0.0回	0.7回	2.0回	4.6回	0.9回	0.0回	0.0回	0.0回	0.0回	2.8回	2.8回

むつ総合病院	むつリハビリテーション病院	大間病院
--------	---------------	------